

第5章 社会基盤

5 - 1 高速交通・情報通信ネットワーク の充実	1 新幹線の整備促進 2 高規格幹線道路、地域高規格道路の整備 3 信州まつもと空港の活性化 4 地域情報化の推進 5 電子自治体の推進
5 - 2 快適で暮らしやすいまちづくり	1 公共交通網の確保 2 暮らしを支える道路網の整備 3 ゆとりある住環境の形成 4 合理的な土地利用の推進

施策の展開 5-1 高速交通・情報通信ネットワークの充実

施策 目標

県民の快適な生活と経済活動を支える高速交通網の充実や情報通信技術の活用を図ります。

現状と課題

長野新幹線、高規格幹線道路*、信州まつもと空港などの活用により、全国主要都市等への時間距離が短縮し、県民の利便性の向上、生活圏の拡大等が図られています。北陸新幹線の金沢延伸に向けた整備が進んでいます。リニア中央新幹線*の整備計画が決定されるなど開業に向けた動きが活発になっています。情報通信技術の活用により、県民の生活の利便性の向上、経済活動の効率化などが図られています。活力ある地域社会を創るためには、高速交通網の充実や情報通信技術を効果的に活用していくことが必要です。

達成目標

指標名	現状	目標 (平成29年度)	備考
県内高規格幹線道路の供用延長	331km (H23年度)	338km	県内の高規格幹線道路の供用延長 [国の事業計画に基づき設定]
信州まつもと空港利用者数	76千人 (H23年度)	120千人	信州まつもと空港を発着する便の年間利用者数の合計 [1日1往復以上の増便を目標に設定]
超高速ブロードバンド*サービスが利用可能な世帯割合	97.4% (H23年度)	100%	超高速ブロードバンドサービスが利用可能な世帯の割合 [国の整備目標をもとに設定]
電子申請利用件数	89,477件 (H19~23年度累計)	135,100件 (H25~29年度累計)	県の電子申請・届出サービスによる電子申請利用件数 [過去の伸び率をもとに設定]

施策の基本方向

北陸新幹線やリニア中央新幹線、高規格幹線道路等の整備を促進するとともに、これらの高速交通網を活かし、本県を中心とした本州中央部における大規模な交流圏域の形成を進めます。

国内線の利用促進や国際チャーター便*の誘致など信州まつもと空港の活性化を図ります。

情報通信基盤の整備など地域での情報化を推進します。

申請・届出等の行政手続の電子化やインターネットを活用した情報提供を進めるなど電子自治体を推進します。

施策の展開

新幹線の整備促進

北陸新幹線の金沢延伸に向け円滑な整備を促進します。

北陸新幹線の金沢延伸の効果を最大限に活かし、地域の活性化につながる取組を進めます。

長野以北の並行在来線の引受けに向けた準備を行うとともに、経営主体のしなの鉄道が安定した経営を行えるよう取り組みます。

リニア中央新幹線の早期開業に向け、沿線都府県と協力して整備を促進します。

高規格幹線道路、地域高規格道路の整備

上信越自動車道の4車線化とともに、中部横断自動車道や中部縦貫自動車道、三遠南信自動車道の整備を促進します。

地域高規格道路松本系魚川連絡道路の整備に向けた取組を進めます。

信州まつもと空港の活性化

信州まつもと空港の路線の拡大を図るなど国内線の利用を促進するとともに、国際チャーター便の誘致などに取り組みます。

地域情報化の推進

超高速ブロードバンドなど情報通信基盤の整備や情報通信技術の利活用の促進により、地域の情報格差の是正を図ります。

電子自治体の推進

県と市町村を結ぶ行政情報ネットワーク「情報ブロードウェイながの」の安定的な稼働を確保するとともに、幅広い利活用を推進します。

長野県情報セキュリティポリシーに基づくセキュリティ対策を実施し、高度で信頼できる情報セキュリティ環境を実現します。

申請、届出等の行政手続の電子化や行政が保有する地理情報の共有化など、様々な分野で情報通信技術の利活用を推進し、行政事務の効率化と県民の利便性の向上を図ります。

(参考) 関連する個別計画

長野県新総合交通ビジョン(策定中)、長野県広域道路整備基本計画

【用語解説】

高規格幹線道路：高速交通サービスの提供を目的に、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路。国の道路計画審議会の答申(昭和62年(1987年))を受け、第4次全国総合開発計画において定められている。県内の高規格幹線道路は中央自動車道、長野自動車道、上信越自動車道、中部横断自動車道、三遠南信自動車道、中部縦貫自動車道

リニア中央新幹線：東京～大阪間を最高設計速度505km/hで結ぶ超電導磁気浮上方式による新幹線。建設・営業主体であるJR東海は、開業予定を、東京～名古屋間は平成39年(2027年)、名古屋～大阪間は平成57年(2045年)と想定している。

超高速ブロードバンド：光ファイバ又は下り伝送速度30Mbps以上のケーブルインターネット若しくは無線通信など

チャーター便：旅行会社等が航空機を借り切って不定期に運航される便

施策の展開 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり

施策 目標

地域公共交通の確保や身近な生活道路の整備・維持管理を行うとともに、ゆとりある住環境の整備などにより、快適で暮らしやすいまちづくりを進めます。

現状と課題

人口減少や高齢化が進展する中で社会基盤を適切に確保し県民の生活を支えていくことが求められています。

県民の身近な交通手段である鉄道やバスなどの公共交通の利用者数は依然減少しており、これまでの仕組みでは地域公共交通の維持・確保が困難となっています。一方、高齢者などの移動手段の確保や地球温暖化抑制の観点から、地域公共交通の果たす役割が大きくなっています。

県内の道路は依然として整備が必要な箇所が多く、道路構造物の老朽化も進行していることから、効率的・効果的な道路整備や適時・的確な維持管理を行うことが求められています。

中心市街地の活性化に向け、集約型都市構造*など機能的な都市環境の整備が求められています。

達成目標

指標名	現状	目標 (平成29年度)	備考
公共交通機関利用者数	103,077千人 (H22年度)	103,077千人	バス、鉄道、タクシーの利用者数 [現状の利用者数の維持を目標に設定]
鉄道の営業キロ数	750.2km (H24年度)	780.1km	県内の鉄道の総営業キロ数 [今後の計画をもとに設定]
国・県道の改良率	65.6% (H22年度)	67.5%	指定区間を除く国道・県道を2車線以上に改良した割合 [過去の実績をもとに設定]
通学路安全対策着手率	44.0% (H24年度)	100%	H24年度に実施した緊急合同点検で確認した要対策箇所(546箇所)のうち、安全対策に着手した割合 [全ての要対策箇所の着手を目標に設定]
用途地域*内都市計画道路整備率	45.3% (H23年度)	49.5%	用途地域内の都市計画道路の計画延長のうち、整備した延長割合 [過去の整備動向をもとに設定]
市街地整備面積	2,726ha (H23年度)	2,800ha	土地区画整理事業により整備した面積 [過去の整備動向をもとに設定]
長期優良住宅*の認定を受けた新築住宅の割合	18.1% (H23年度)	20.0%	新築住宅のうち長期優良住宅の認定を受けた住宅の割合 [国の住生活基本計画をもとに設定]

施策の基本方向

県民の快適な暮らしと観光客等の円滑な移動を支えるため、鉄道・バスをはじめとした公共交通の確保を図ります。

地域の暮らしや産業を支える道路網の整備を進めます。

ゆとりある住環境づくりのため、円滑で機能的な都市環境を実現する街路、都市公園、市街地などの整備や良質な住まいの整備を進めます。

計画的、総合的な県土の利用を確保するため、適正で合理的な土地利用の推進と土地取引の適正化を図ります。

施策の展開

公共交通網の確保

地域鉄道の安全性の確保やサービスの向上、バリアフリー化のための設備整備を促進します。

列車のスピードアップなど利便性の向上について、沿線市町村、関係団体と連携して、ＪＲをはじめ関係機関に働きかけます。

日常生活に不可欠な幹線的なバス路線の維持・確保を図ります。

高齢者や障害者など誰もが利用しやすい低床バスや環境負荷の少ないバスなど、人や環境にやさしいバスの導入を促進します。

主要な鉄道駅と観光地を結ぶバス路線の確保や案内機能の強化、乗り継ぎの円滑化の促進などにより観光客が移動する際の利便性の向上を図ります。

パークアンドライド、ノーマイカー通勤などを促進し、公共交通機関の利用拡大を図ります。

暮らしを支える道路網の整備

国道 18 号、19 号、20 号、148 号、153 号、158 号など国が進める道路の整備を促進します。

新幹線駅や高規格幹線道路等と県内の主要都市とのアクセス機能を向上させる道路の整備に向けて取り組みます。

高速交通網や鉄道駅、生活圏を結ぶ幹線道路の整備を推進します。

交通渋滞や危険箇所（イライラ・ハラハラ箇所*など）の解消等により、物流の円滑化・観光地へのアクセス・周遊機能の向上など長野県の経済を支える幹線道路網、快適な暮らしを支える生活道路の整備を推進します。

道路施設を適切に維持・管理することにより、安全で快適な道路交通を確保します。

歩道の整備や交差点の改良などにより、通学路等の安全対策を推進します。

除雪や雪寒対策等を実施して冬期交通の安全確保を図ります。

過疎地域や豪雪地域での基幹的な市町村道を県が代行して整備します。

農道や林道を計画的に整備し、農山村地域などの生産条件、交通の利便性の向上を図ります。

ゆとりある住環境の形成

都市機能の集積や防災性の向上など、安全で暮らしやすく機能的な都市環境の整備を促

進めます。

都市機能をコンパクトに集約させるとともに、高齢者や障害者などに配慮した道路や都市公園等の整備を進めることで、誰もが暮らしやすいまちづくりを推進します。

長期にわたり使用できる住宅の普及促進や街路・都市公園の整備などにより、良好な住環境づくりを進めます。

地域の居住ニーズに対応し、老朽化した県営住宅の改修や市町村との協議を踏まえた建替えを進めます。

快適な生活環境と良好な水環境保全のため、下水道等の普及を促進するとともに、安全で安定的な水道水の供給を図るため、県営水道の計画的な維持・整備に努めます。

合理的な土地利用の推進

計画的、総合的な県土の利用を図るため、開発行為や土地利用に関する重要な事項について、長期的、総合的な観点から関係機関との調整を行います。

一定面積以上の土地取引について利用目的などを審査し、適正な土地取引と土地利用を推進するとともに、適正な地価の形成のため、土地価格を調査・公表します。

土地の保全と利用を促進するため、土地の境界確定や測量などを行い、地籍の明確化を進めます。

(参考) 関連する個別計画

長野県広域道路整備基本計画、長野県新総合交通ビジョン(策定中)、国土利用計画(長野県計画)、長野県土地利用基本計画、長野県住生活基本計画、長野県高齢者居住安定確保計画、長野県都市計画ビジョン、長野県営水道事業経営ビジョン

【用語解説】

集約型都市構造：都市機能を集積することにより、多くの人暮らしやすい、歩いて暮らせる環境をつくるとともに、既存ストックの有効活用、環境負荷の低減を図り、また、他の地域との間を公共交通ネットワークで連携した都市構造

用途地域：建築物の用途などに制限を加えることにより、良好な住環境の保護や、商工業の利便の増進を図るもので、市街地での土地利用の動向を踏まえ、12種類の地域の中から定められる。

長期優良住宅：一定の耐震性能、耐久性、環境性能、居住環境等の基準を満たした住宅

イライラ・ハラハラ箇所：国と県が、渋滞や事故の発生状況などの客観的データや、道路利用者からのパブリックコメント等を踏まえ、県内道路における要対策箇所として選定するもので、それぞれ移動性阻害(イライラ)箇所、安全性要対策(ハラハラ)箇所を意味する。

以下、主要な整備か所として、全体事業費がおおむね5億円以上と見込まれるものを掲載しました。

土地区画整理事業主要か所一覧表

名 称	整 備 か 所	整備目標
長野駅周辺第二地区	長野市 長野駅周辺第二地区	整備促進
新幹線飯山駅周辺地区	飯山市 新幹線飯山駅周辺地区	完成

市街地再開発事業主要か所一覧表

地 区 名	整 備 内 容	整備目標
権堂地区B-1(長野市)	共同ビル(住宅・店舗・公益施設)	完成

街路整備主要か所一覧表

名 称	整 備 か 所	整備目標
(円滑な交通の確保)		
軽井沢草津線	軽井沢町 中軽井沢駅前	事業着手
中常田新町線	上田市 常田	完成供用
田中線	岡谷市 若宮	完成供用
下山妙琴原線	飯田市 上山	完成供用
宮渕新橋上金井線	松本市 清水～惣社	事業着手
大門中山道線	塩尻市 大門	事業着手
三日町犬ノ窪線	大町市 俵町	完成供用
中央通り線	大町市 北大町	事業着手
栗田屋島線	長野市 南部小学校北	事業着手
長野菅平線	長野市 大豆島	事業着手
(円滑な交通の確保(放射・環状道路))		
羽場大瀬木線	飯田市 羽場～切石	完成供用
内環状南線	松本市 中条	完成供用
高田若槻線	長野市 桐原～吉田	整備推進
上川橋線	茅野市 宮川茅野	整備推進
(緊急輸送路の整備)		
北天神町古吉町線	上田市 三好町	完成供用
北天神町古吉町線	上田市 三好町(2工区)	事業着手
岡谷川岸線	岡谷市 成田町	事業着手
竜東線	伊那市 境	完成供用
竜東線	伊那市 中央北	事業着手
辰野宮木線	辰野町 辰野駅前	事業着手
戸倉上山田線	千曲市 上中町	完成供用
臥竜線	須坂市 八幡町	事業着手
立ヶ花東山線	中野市 吉田	事業着手

真田線 県庁篠ノ井線	長野市 松代 長野市 川中島～篠ノ井	完成供用 事業着手
(危険な踏切対策) 出川双葉線	松本市 出川～双葉	整備推進

道路整備主要か所一覧表

路線名等		整備か所	整備目標
(高速交通網関連) 高規格幹線道路		上信越自動車道(4車線化) 中部横断自動車道 中部縦貫自動車道 三遠南信自動車道	整備促進 整備促進 整備促進 整備促進
地域高規格道路		松本糸魚川連絡道路	計画・整備
リニア中央新幹線関連		リニア中央新幹線中間駅のアクセス道路	計画・整備
一般国道	142号 152号 152号 152号 256号 256号 403号 403号	佐久市 佐久南拡幅 飯田市 小嵐バイパス 飯田市 和田バイパス 飯田市 小道木バイパス 飯田市 上久堅拡幅 飯田市 下久堅バイパス 飯山市 中央橋架替 木島平村～山ノ内町 落合	完成供用 整備推進 完成供用 完成供用 完成供用 事業着手 完成供用 完成供用
主要地方道	飯山斑尾新井線	飯山市 飯山駅西	完成供用
一般県道	上小田切白田(停)線 波田北大妻豊科線	佐久市 下小田切 松本市 島々～三溝新田	事業着手 整備推進
(緊急輸送路の整備) 一般国道	144号 144号 254号 152号 152号 153号 151号 151号 151号 418号 418号 418号 418号	上田市 上野バイパス 上田市 湯ノ平橋 上田市 東内～西内 茅野市 湯川バイパス 伊那市 栗田～四日市場 伊那市～南箕輪村～箕輪町 伊那バイパス 下條村 粒良脇トンネル 阿南町 新野峠拡幅 阿南町 新野峠バイパス 天龍村～飯田市 十方峡バイパス 飯田市 飯島 天龍村 天竜川橋 売木村 軒川	整備推進 事業着手 整備推進 事業着手 整備推進 整備推進 事業着手 事業着手 完成供用 完成供用 完成供用 整備推進 事業着手

	256号 143号 158号 403号 148号 403号 406号 117号	南木曾町 漆畑拡幅 松本市 会吉 松本市 狸平 筑北村～安曇野市 矢越防災 小谷村 雨中 長野市 関崎橋東 長野市 西組バイパス 中野市～飯山市 替佐～静間バイパス	整備推進 整備推進 事業着手 整備推進 整備推進 事業着手 整備推進 完成供用
主要地方道	諏訪辰野線 飯島飯田線 飯田富山佐久間線 開田三岳福島線 奈川木祖線 奈川木祖線 大町麻績インター千曲線 白馬美麻線 坂城インター線 長野真田線 丸子信州新線	諏訪市 高島 飯田市 切石～北方 泰阜村～阿南町 中尾～南宮 木曾町 川合 木祖村 白樺平下 木祖村 白樺平上 生坂村 山清路 白馬村 大左右 坂城町 中之条 長野市 松代 長野市 大岡	整備推進 整備推進 完成供用 完成供用 完成供用 整備推進 整備推進 事業着手 事業着手 整備推進 整備推進
一般県道	東部望月線	東御市 田中南	完成供用
(渋滞・安全対策) 一般国道	141号 403号	佐久市～小諸市 跡部～平原 須坂市 幸高～井上拡幅	事業着手 完成供用
主要地方道	岡谷茅野線	諏訪市 大熊	整備推進
一般県道	払沢茅野線 与地辰野線 上松南木曾線 上松南木曾線 長野豊野線	茅野市 宮川茅野 辰野町 北大出 上松町～大桑村 登玉～和村 大桑村～南木曾町 読書ダム～戸場 長野市 三才	完成供用 事業着手 整備推進 事業着手 整備推進
(地域活性化 (観光含む。)) 一般国道	254号 299号	立科町 宇山バイパス 茅野市 糸萱拡幅	整備推進 完成供用
主要地方道	佐久小諸線 川上佐久線 伊那生田飯田線 天竜公園阿智線 上高地公園線 塩尻鍋割穂高線 穂高明科線	佐久市 岸野～高瀬 佐久穂町 海瀬 飯島町 田切 阿智村 伍和 松本市 上高地 安曇野市 塚原 安曇野市 常盤橋	整備推進 完成供用 完成供用 完成供用 整備推進 事業着手 完成供用

	長野上田線	長野市 塩崎	完成供用
一般県道	栗林宮田（停）線 青木東郷線 千国北城線 内川姨捨（停）線 中野飯山線 豊田中野線	駒ヶ根市～宮田村 大久保橋 飯田市 鼎 小谷村～白馬村 梅池 千曲市 冠着橋 中野市 柳沢 中野市 笠倉～壁田	整備推進 完成供用 完成供用 完成供用 事業着手 整備推進
（円滑な交通 （環状道路）） 主要地方道	長野菅平線	長野市 落合橋北	事業着手
（災害復興） 一般国道	405号	栄村 秋山拡幅	完成供用
一般県道	長瀬横倉（停）線 箕作飯山線	栄村 長瀬～貝廻坂 栄村～野沢温泉村 箕作～明石	完成供用 部分供用

農道整備主要か所一覧表

路線名		整備か所	整備目標
広域農道	佐久南部地区	佐久市、佐久穂町	完成供用
	佐久南部2期地区	小海町、佐久穂町	部分供用
	上水内北部地区	長野市、信濃町、飯綱町	完成供用

林道整備主要か所一覧表

路線名		整備か所	整備目標
森林基幹道	田口十石峠線	佐久市、佐久穂町	部分供用
	長谷高遠線	伊那市	部分供用
	千遠線	飯田市	部分供用
	弓の又線	阿智村	部分供用
	大島氏乗線	喬木村	部分供用
	高森山線	大鹿村	部分供用
	白馬小谷東山線	小谷村	部分供用
森林管理道	戸谷沢線	須坂市	完成供用

【用語解説】

計画・整備：高速交通網関連として、計画を進め、整備に向けた取組を行うもの
 事業着手：準備・計画段階にあるもののうち、事業を始めるか所
 整備推進：事業着手したもののうち、完成に向け引き続き事業を進めるか所
 整備促進：事業着手したもののうち、完成に向け引き続き事業を促すか所
 部分供用：一部区間について、開通を目指すか所
 完成供用：すべての区間について、開通を目指すか所
 完成：工事が完了するもの（面的な整備の場合）